

(仮称)嵐山町立再編小中学校基本設計説明会

令和6年12月21日 午前10時

この資料は、令和6年12月21日に町民ホールで開催した（仮称）嵐山町立再編小中学校基本設計説明会において、パワーポイントを用いて説明させて頂いた内容を、ホームページで公表するために再編集したものです。





01

基本施設計画について

02

ボリューム検討結果について

03

設計の進め方と検討事項など

04

現時点の設計案

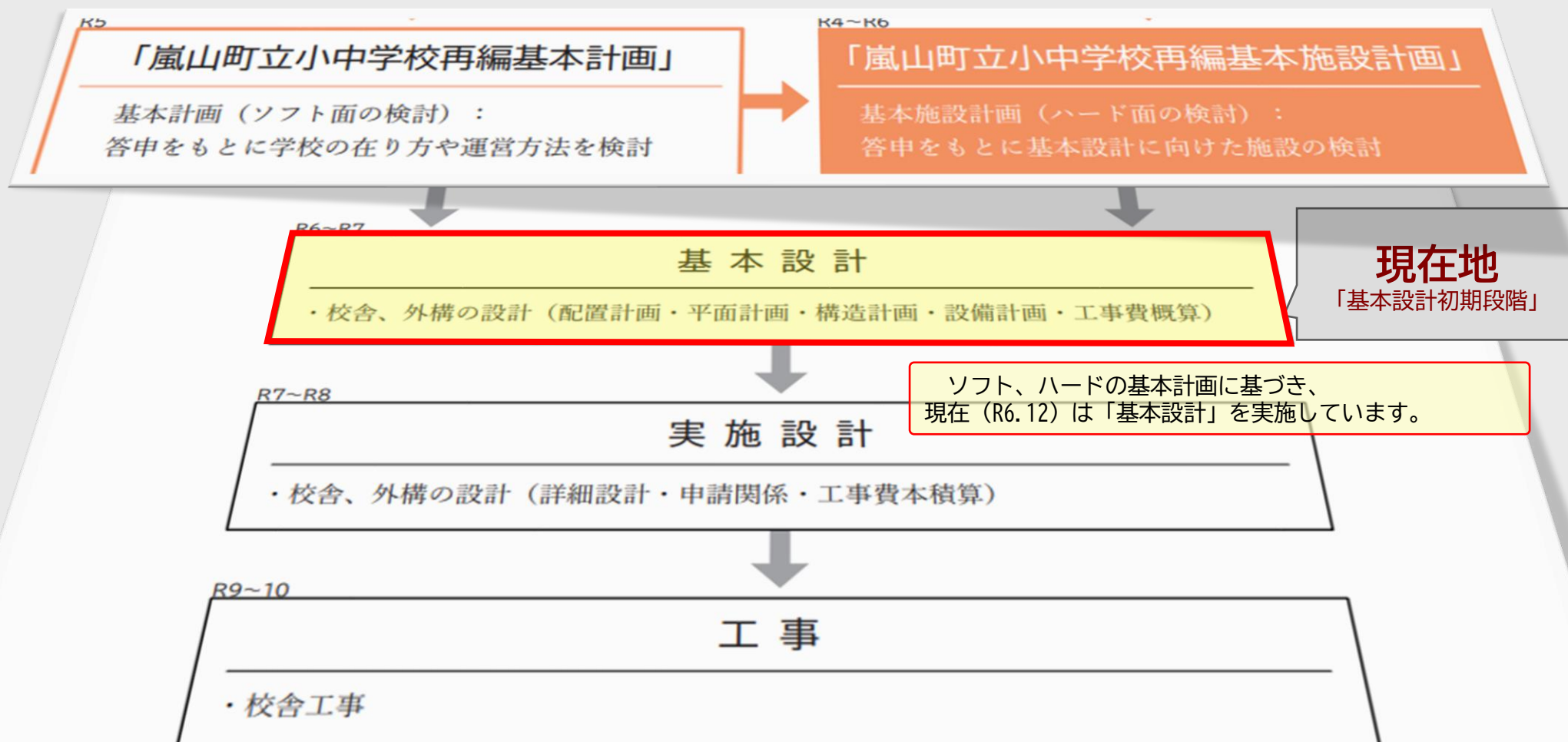
05

質疑応答・要望・提答



「ソフト計画」

「ハード計画」

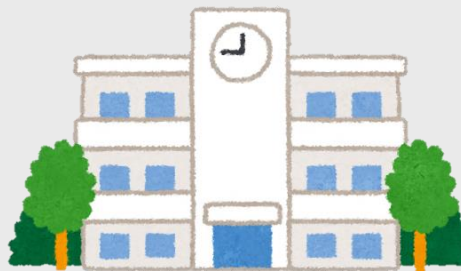


※嵐山町立小中学校再編基本施設計画より抜粋

「嵐山町立小中学校再編基本施設計画」

(ハード計画)

どのような建物を？



学校の規模

どこに？



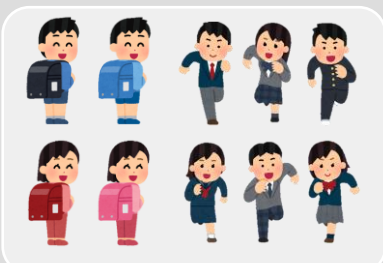
配置計画

を決める計画

ハード計画である、「嵐山町立小中学校基本施設計画」では、学校の規模（面積）と配置計画（校舎を建てる位置）を決めました。

どのような建物を？

学校の規模（面積）は、児童生徒数、面積基準、建築事例を調査・検討することにより決定していきました。



開校時の

児童生徒数



文科省が示す

面積基準

学び



新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方についてより抜粋

近年の

建築事例



どこに？

嵐山町小中学校再編等審議会 答申

小学校及び中学校の将来を見据えた
学校の在り方について（答申）

令和 4 年 7 月 22 日

嵐山町立小中学校再編等審議会

配置計画（校舎を建てる位置）については、嵐山町立小中学校再編等審議会の答申により、「新しい学校の場所は現在の菅谷小学校及び菅谷中学校の場所とする」ということが「結論事項」とされていました。

◎結論

嵐山町立小学校 3 校を 1 校に再編統合する
嵐山町立中学校 2 校を 1 校に再編統合する
新しい学校の場所は現在の菅谷小学校及び菅谷中学校の場所とする

これを受けて、次のようなことを考えました。

菅谷小学校の敷地に建てる？

それぞれに建てる？

菅谷中学校の敷地に建てる？

既存校舎の再利用をする？



既存校舎の再利用をする？



前提条件として、「既存校舎の再利用をするか？」を調べるため、「耐力度調査」を実施しました。

耐力度調査 (既存校舎の構造耐力上の健全度調査)



菅谷小学校 結果一覧表

棟番号	建物区分	建築年月	延床面積 (㎡)	階数	構造	(A) 構造耐力 [点]	(B) 健全度 [点]	(C) 立地条件 [点]	(A) × (B) × (C) 耐力度点数 [点]
① (001)	校舎	S47.02	2,929	地上：3	RC	85	51	0.94	4075
⑤ (005)	校舎	S56.03	808	地上：2	RC	92	57	0.94	4929
⑫ (012)	校舎	S56.03	1,703	地上：3	RC	90	51	0.94	

その結果、菅谷小学校の耐力は少なく再利用は非常に難しい。
菅谷中学校の耐力は残っており、再利用の余地があると分かりました。

棟番号	建物区分	建築年月	延床面積 (㎡)	階数	構造	(A) 構造耐力 [点]	(B) 健全度 [点]	(C) 立地条件 [点]	(A) × (B) × (C) 耐力度点数 [点]
③-1 (003-1)	校舎	S50.03	2,021	地上：4	RC	90	57	0.94	4822
③-2 (003-2)	校舎	S50.05	1,660	地上：4	RC	90	60	0.94	5076
⑥ (006)	校舎	S61.03	2,854	地上：2	RC	100	63	0.94	5922

菅谷小学校校舎 耐力

少

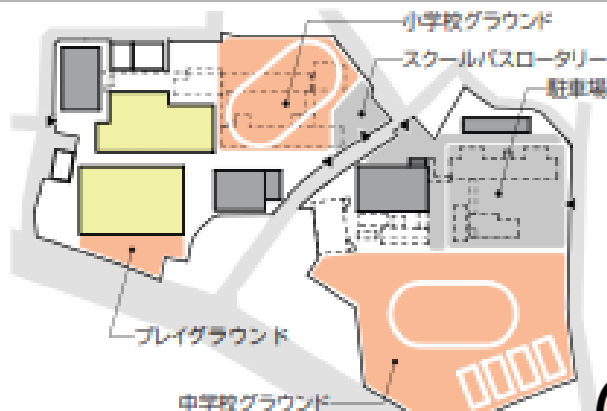
菅谷中学校校舎 耐力

有



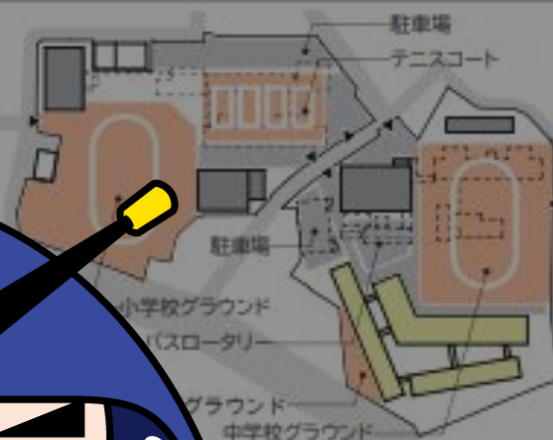
A案：小中施設併設改築案（小学校敷地）

小学校敷地（現菅谷小学校）に、小中施設併設型の校舎を改築する案。



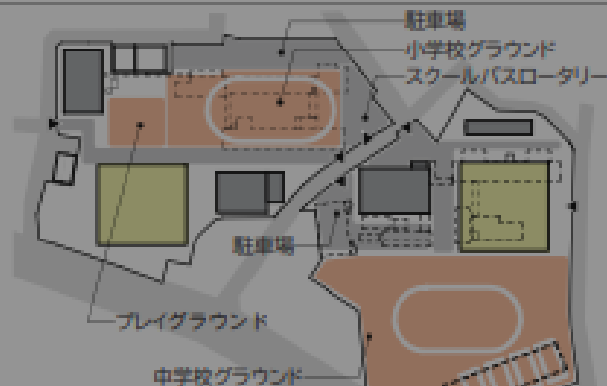
B案：小中施設併設改築案（中学校敷地）

中学校敷地（現菅谷中学校）に、小中施設併設型の校舎を改築する案。



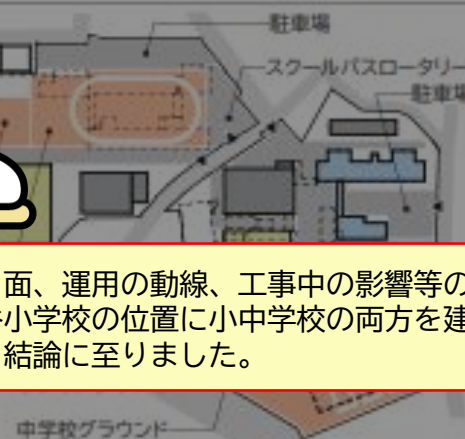
C案：小中施設分離改築案

小中各々の校舎を改築する案。



改修・増築案

改築。中学校校舎は長寿命化改修及び増築をする案。



総工事期間、コスト面、運用の動線、工事中的影響等の観点で比較検討を行い、現菅谷小学校の位置に小中学校の両方を建築する計画が優れているという結論に至りました。



01



基本施設計画について

02

ボリューム検討結果について

03

設計の進め方と検討事項など

04

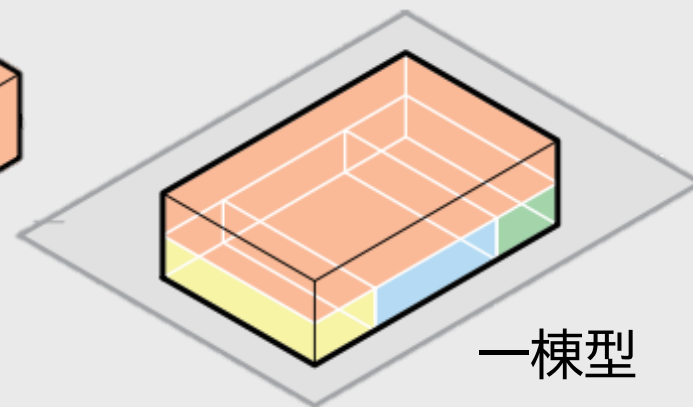
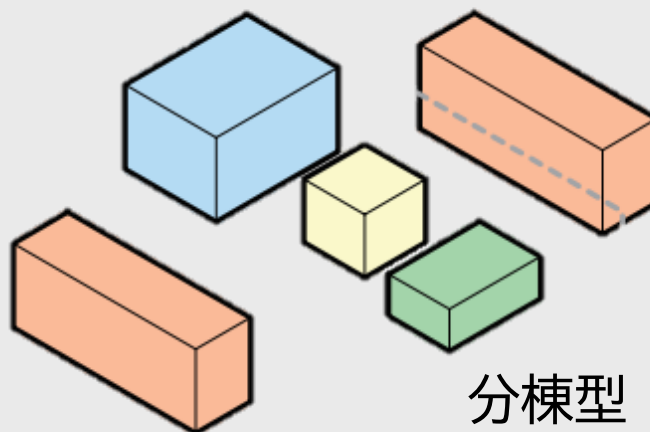
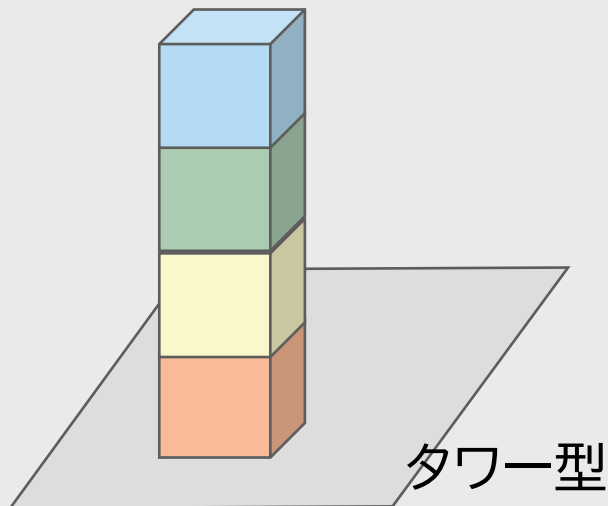
現時点の設計案

05

質疑応答・要望・提答

ボリューム検討とは、

「嵐山町立小中学校基本施設計画」（ハード計画）では、ボリューム検討も実施しました。
ボリューム検討とは、諸条件の整理により建物の概形を検討することです。



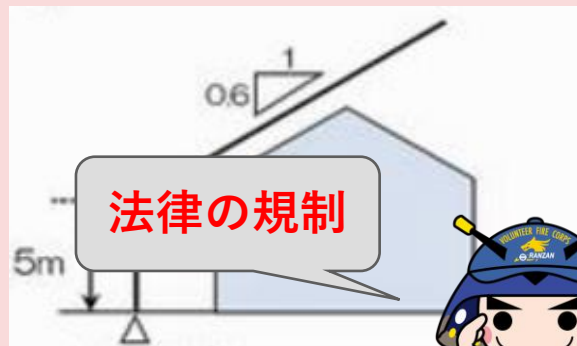
こういったパターンを

敷地の条件

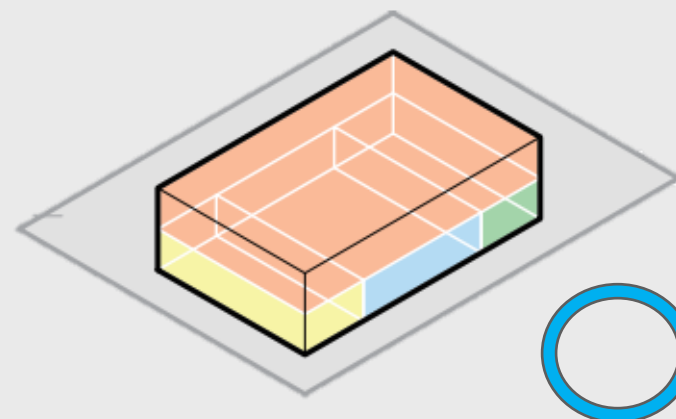
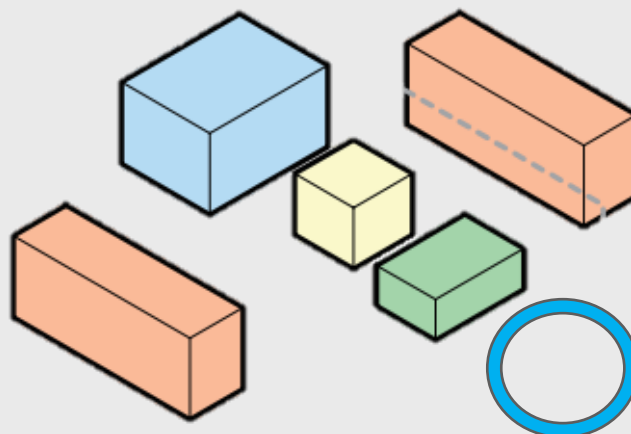
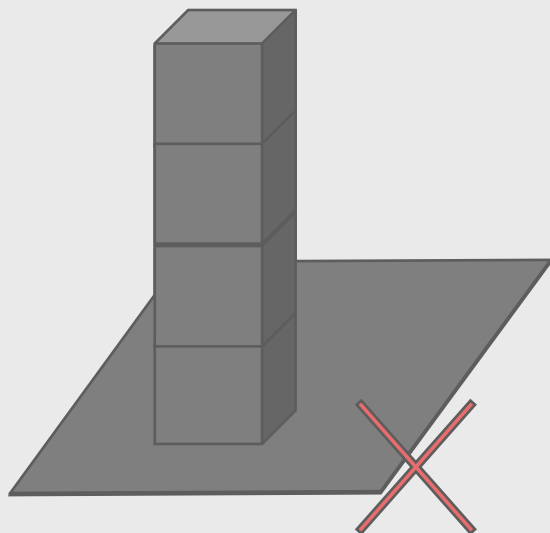
建物用途

等の条件を踏まえて検討していくこと。

敷地の条件



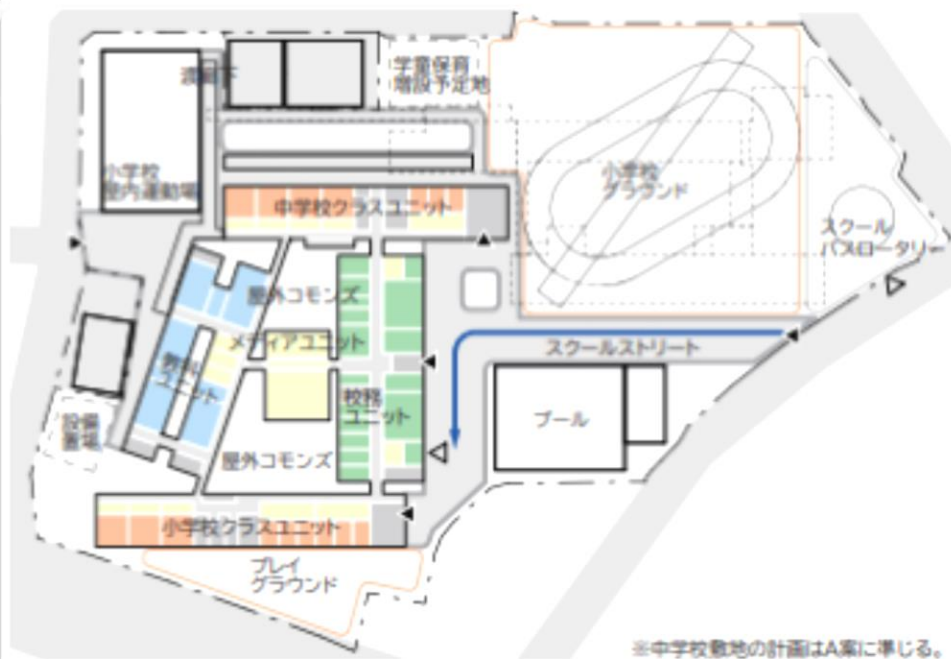
建物用途



敷地の法規制により、タワー型の概形は不可となりました。

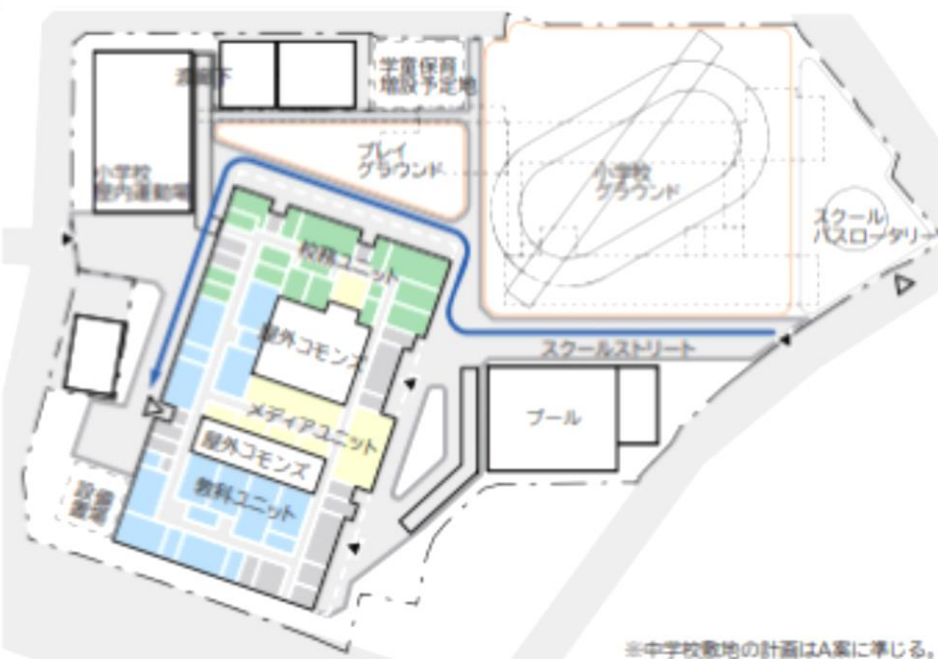


学校という用途を踏まえ、学校の基本的な形である、「分棟案」と効率化のため各機能を集約して建てる「一棟案」を検討比較検討しました。



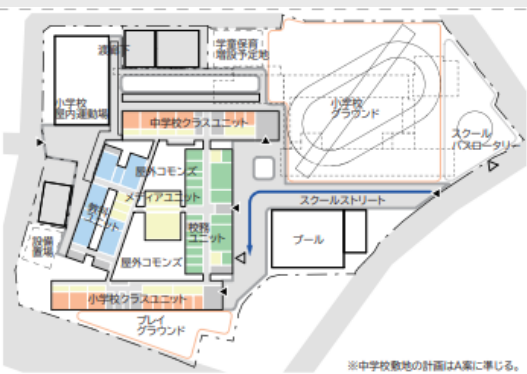
分棟案

基本形



一棟案

集約化



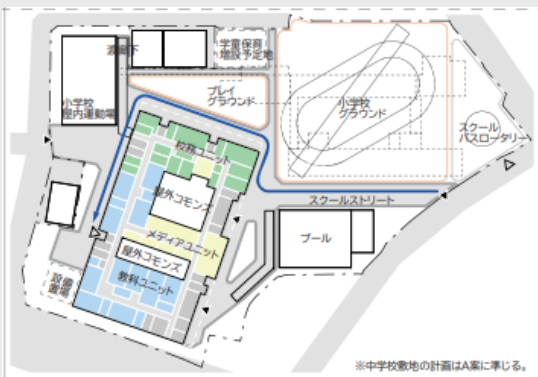
一般的な学校の形式であるため、イメージしやすい！
棟ごとに役割がはっきりするので、運営管理がしやすい！

分棟案

施設の共有が難しく、無駄が多くなる？

小中一貫教育を推進するのに、交流が生まれない？





多くの施設が共有できて、無駄が少なく効率的なイメージ！
共用部利用に際して、小中学生の交流が促進される！

一棟案

交流が生まれるのはいいけど、小さい子は落ち着かない？
日当たりの悪い部屋が多くなりそう？



いいとこどりの「ストリート案」を作成！

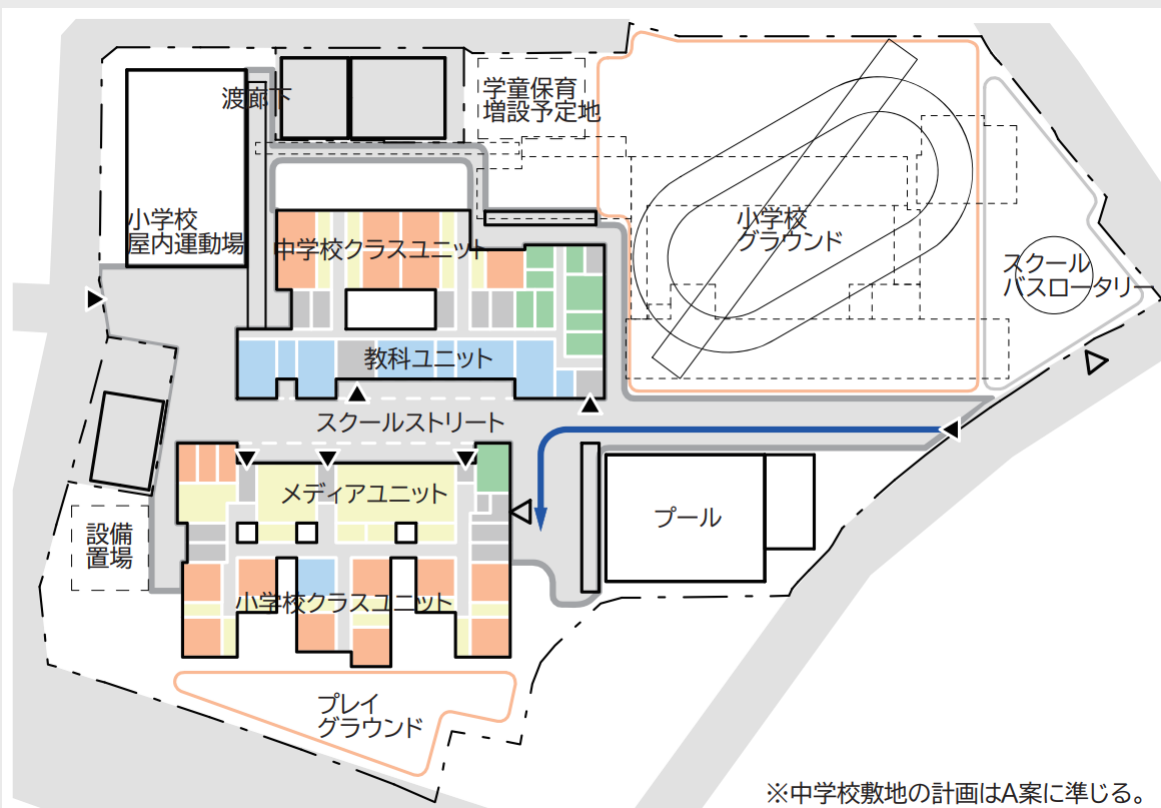
分棟案

+

一棟案

=

ストリート案
(折衷案)



ストリートを介しての、小中学生のゆるやかな交流と施設共有が可能！

学年のエリアを棟で分けることも可能で明確なプライベート空間を確保！

多くの室を外部に面して計画することができ、明るく快適な空間を確保！







01

基本施設計画について

02

ボリューム検討結果について



03

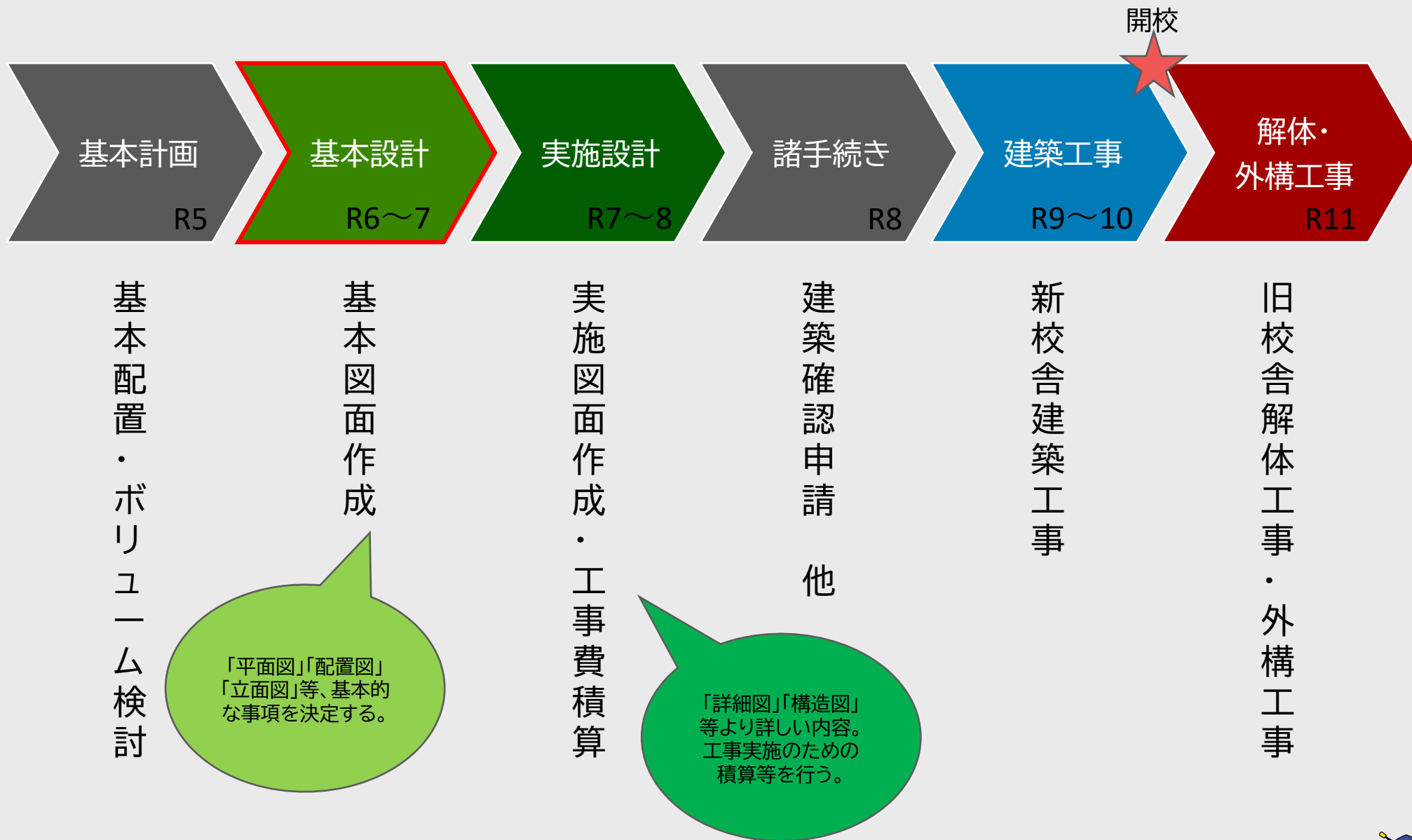
設計の進め方と検討事項など

04

現時点の設計案

05

質疑応答・要望・提答





嵐山町民「みんなの学校」として、いいものをつくりたい！！

児童・生徒
の意見

保護者・町民
の意見

教職員
の意見

➡ 「みんなの意見」を取り入れたい！！

みんなで給食を食べられる場所がほしい
動植物にふれあえる場所がほしい
広い図書館がほしい

本日の説明会などを通して、ご意見を反映

ロッカー、物入の不足
多様な教育への対応
タブレット端末、IT教育への対応

現在、町HPにて
施設の設計（ハード計画）に関する「要望・提案」を受け付けております。

■詳細
○○○○

アンケート調査

全教職員の50%程度が
回答

設計に
反映

小学生が議場に立つ姿、見てみませんか

2024

学校統合に係る
児童生徒意見発表会

15

「みんなで、議場で語ろう」

- 令和6年5月18日(土)10:00START
- 嵐山町役場庁舎2階 議場
- 参加自由(※出席費は別冊配布の用紙にてお振込みください)
- 町内各公立小中学校の代表者 全24名
- 「これからの嵐山町の新しい学校について」

主 催：嵐山町教育委員会 嵐山町校長会・教員会 後援：嵐山町議会
問合せ：嵐山町教育委員会 教育総務課 電話0493(42)0823

01

基本施設計画について

02

ボリューム検討結果について

03



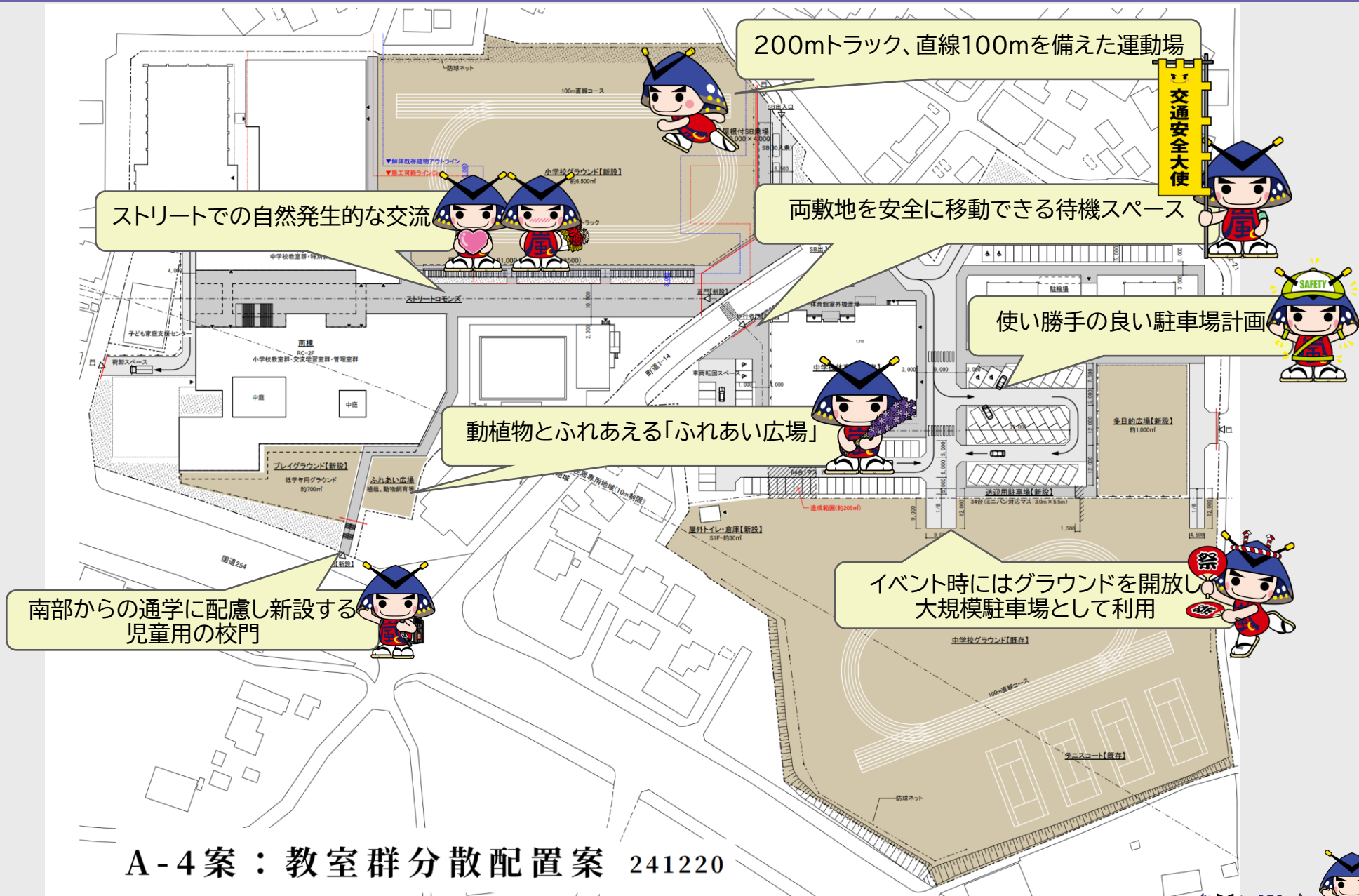
設計の進め方と検討事項など

04

現時点の設計案

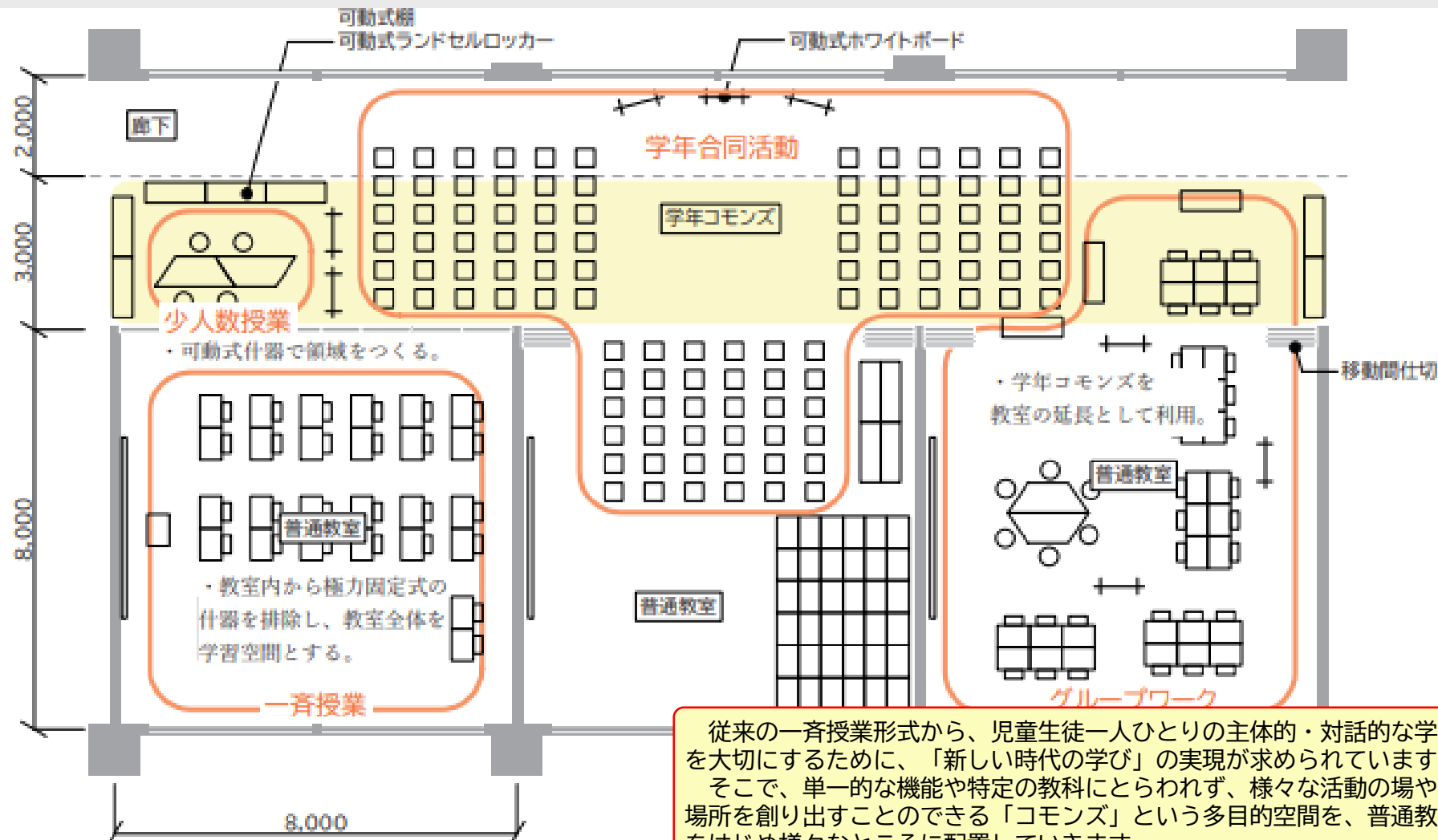
05

質疑応答・要望・提答





多様な教育に対応する「コモンズ(多目的空間)」



多様な教育に対応する「コモンズ(多目的空間)」



新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方についてより抜粋

教室前の広々とした多目的スペース
学年ごとの集会も可能

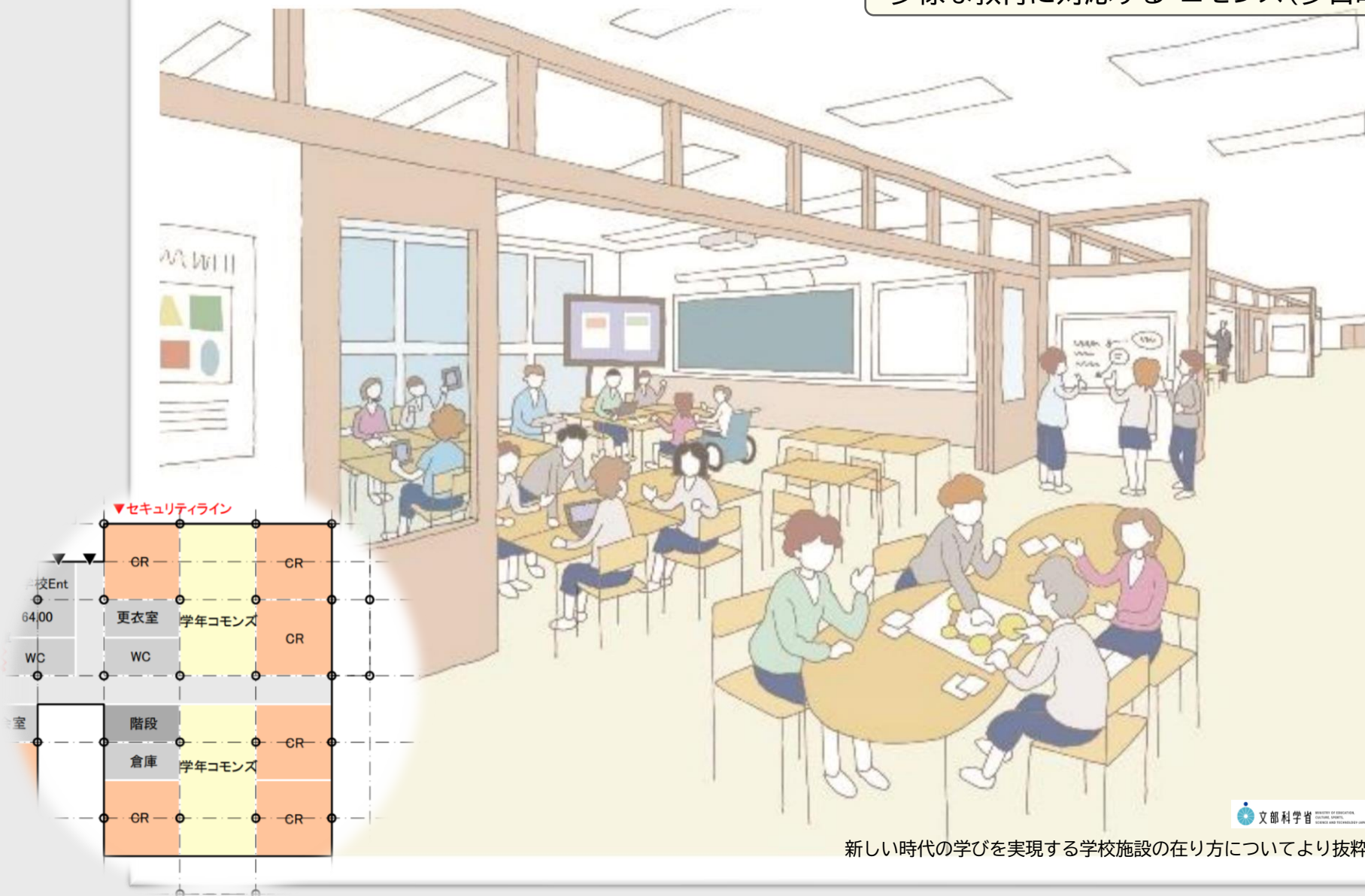
多様な教育に対応する「コモンズ(多目的空間)」



新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方についてより抜粋

広々とした廊下は、場面によっては扉を開閉して柔軟に利用

多様な教育に対応する「コモンズ(多目的空間)」



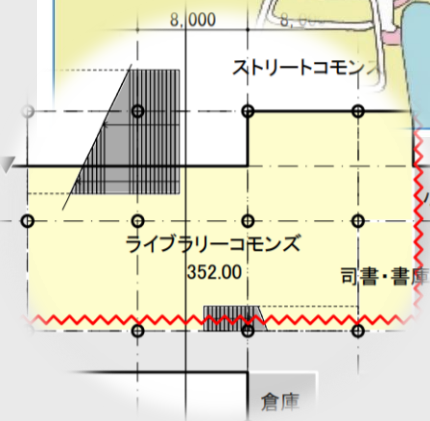
新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方についてより抜粋

文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY



従来の「図書館」と「PC室」を合わせて、総合的な学びの場として、
ライブラリーcommons・ラーニングcommonsを計画します。

学び

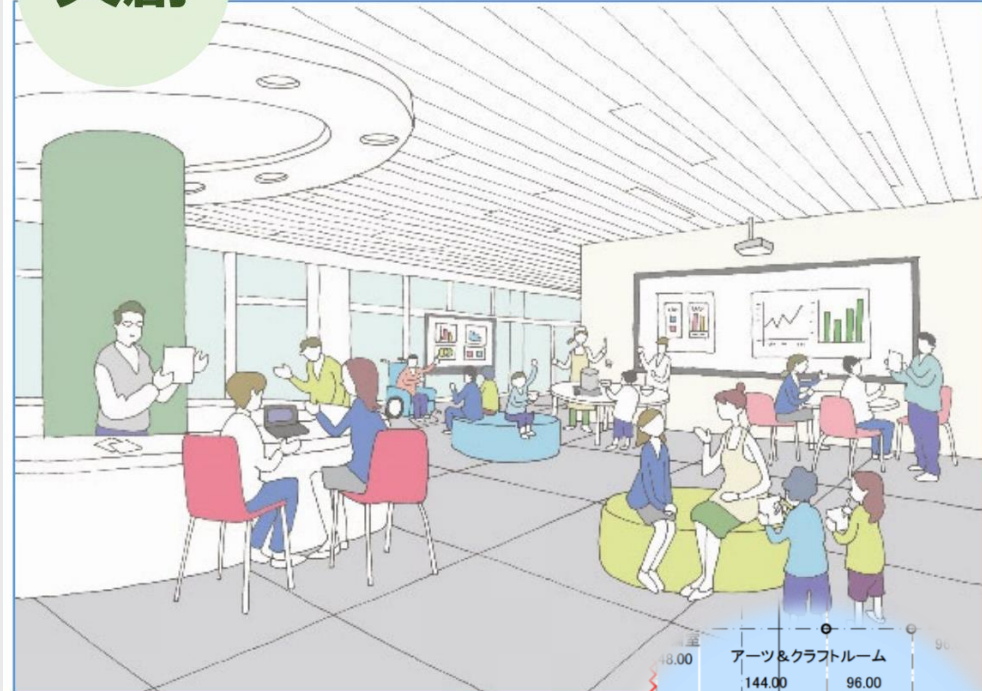


総合的な学びの空間

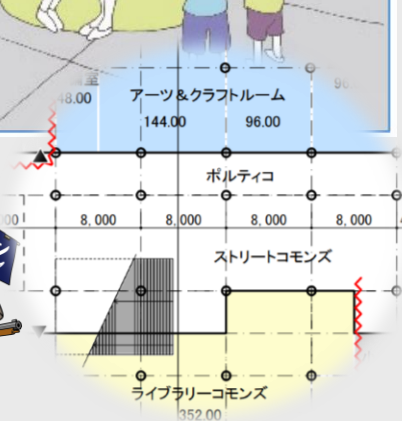


ストリートに面して「図工室、美術室、被服室」などの用途をまとめた「アート&クラフトルーム」を設置することで、休日等には地域コミュニティ拠点としても利用できる共創空間を計画します。

共創



連携・協働ができる共創空間



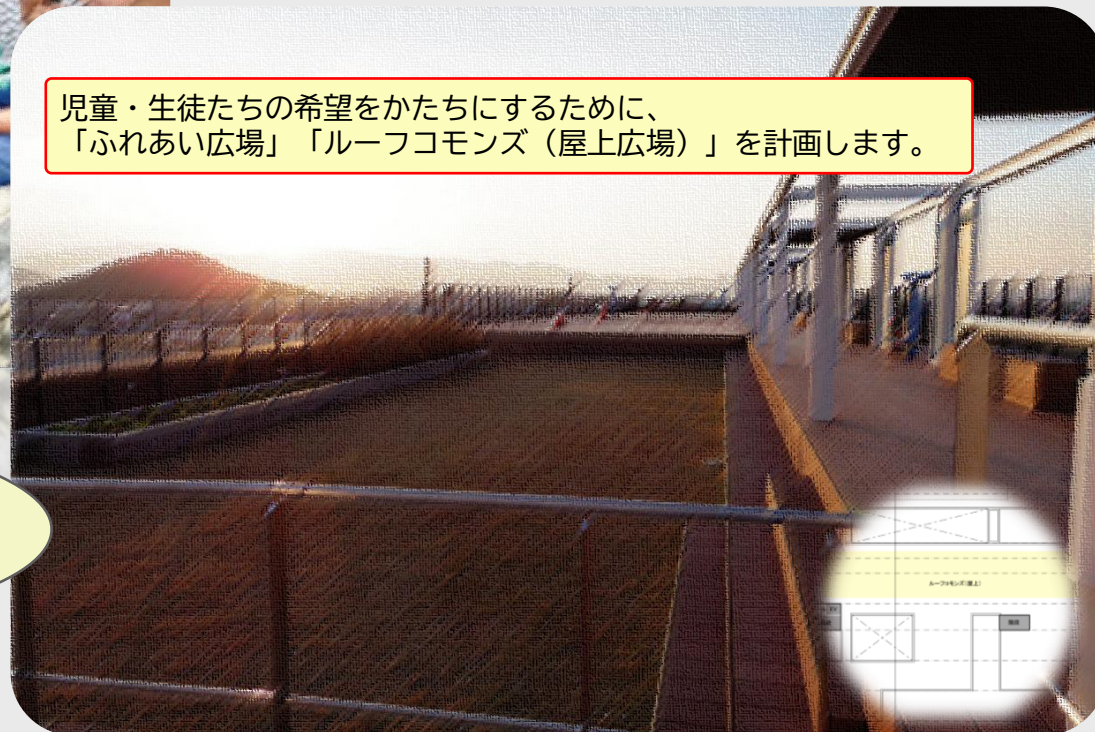
新しい時代の学びを実現



動植物とふれあえる
場所がほしい



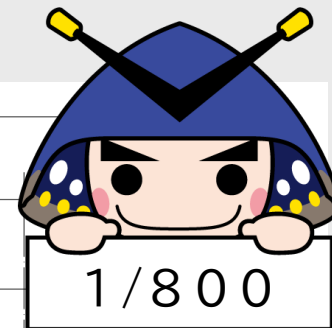
児童・生徒たちの希望をかたちにするために、
「ふれあい広場」「ルーフコモンズ（屋上広場）」を計画します。



みんなで一緒に
給食をたべたい！

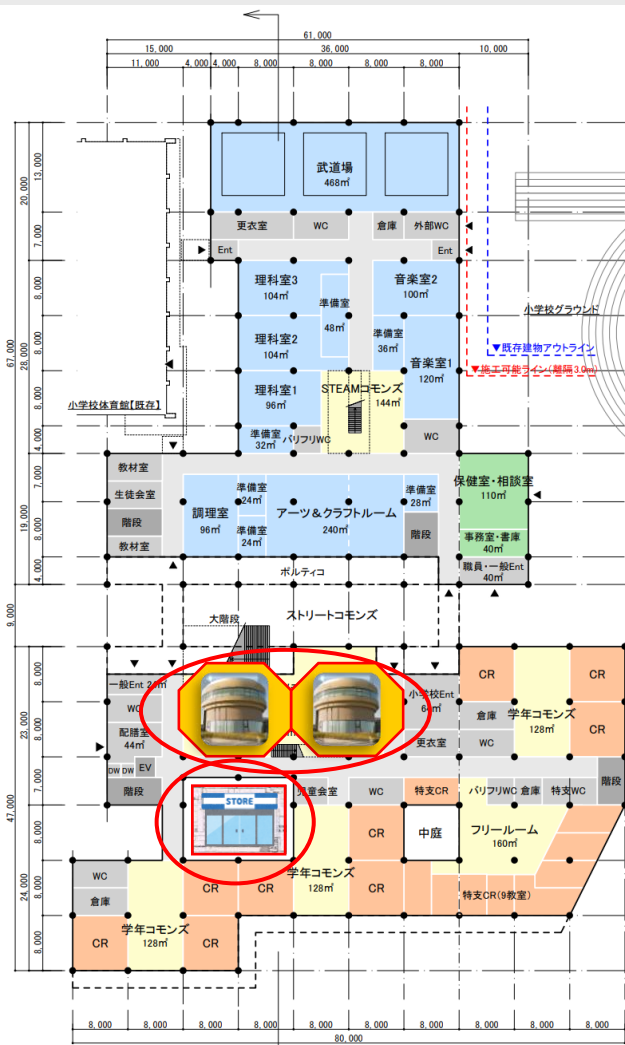
児童・生徒の希望をかたちに





配布図面の縮尺

配布図面（HP掲載のものと同じ）の縮尺は1/800となっており、図面から受けるイメージと実際の大きさにギャップがあると思われます。例えば、南棟2階の倉庫はかなり小さく見えますが、「たたみ6畳程度」南棟1階の中庭は「一般的なコンビニの売り場程度」ラーニングcommons・ライブラリーcommonsは「町民ホール2つ分程度」の広さになります。

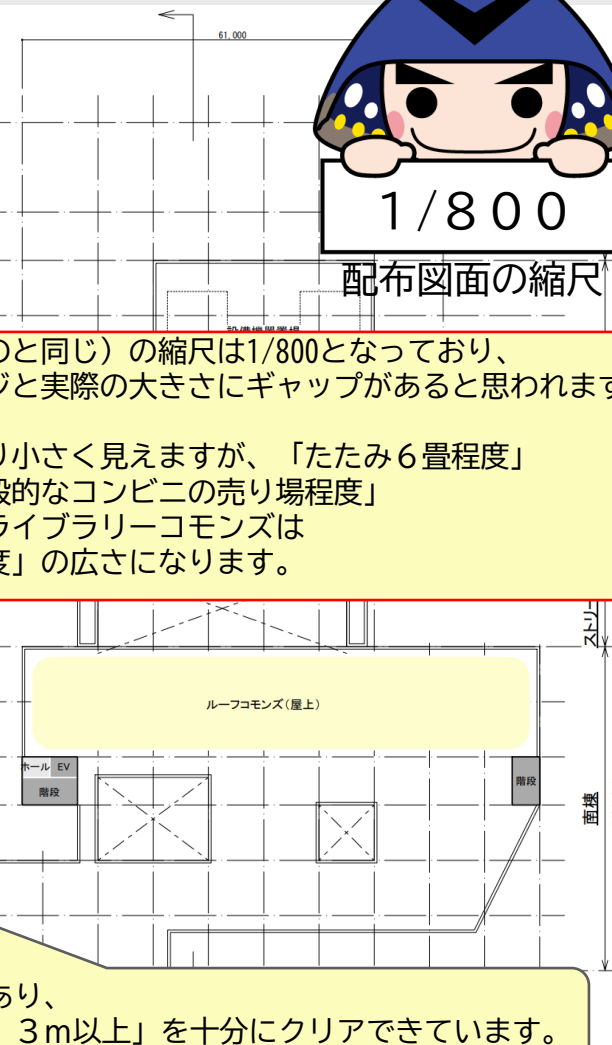


1階平面図 S=1/800(A3)



2階平面図 S=1/800(A3)

3 m程度の幅があり、法律の基準「2. 3 m以上」を十分にクリアできています。



R階平面図 S=1/800(A3)



01

基本施設計画について

02

ボリューム検討結果について

03

設計の進め方と検討事項など

04

現時点の設計案



05

質疑応答・要望・提答

質疑応答・要望・提案

【お願い】

- ・施設の設計（ハード計画）に関するものに限らせて頂きます。
- ・質問は1問ずつお願いします。
- ・要望、提案については、アンケート用紙に記入をお願いします。



現在、町HPにて
施設の設計（ハード計画）に関する「要望・提案」を受け付けております。

■詳細

〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

